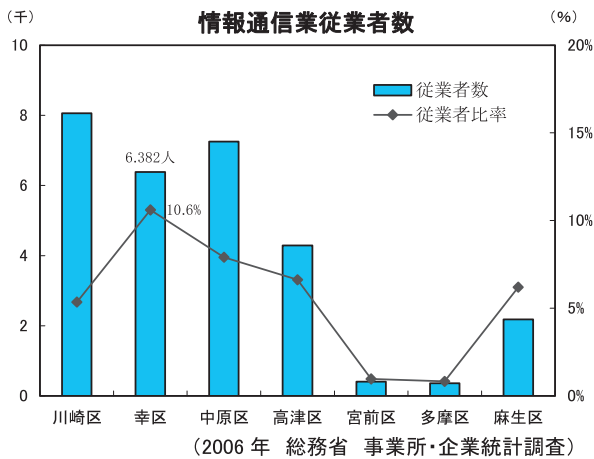


■幸区の現状と主な課題

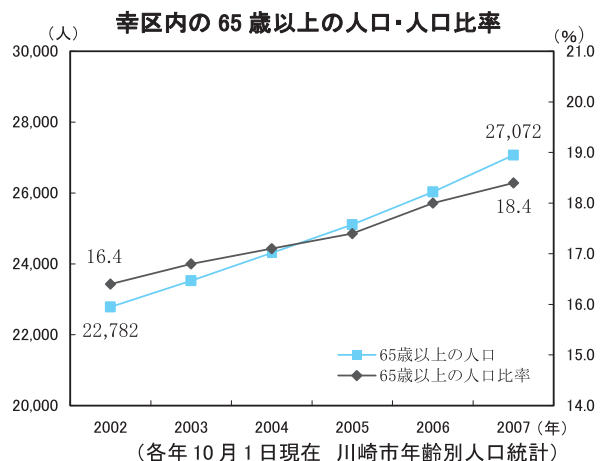
- 幸区では、主に鉄道駅周辺を中心に拠点整備が進んでおり、「音楽のまち・かわさき」の中核施設であるミュージア川崎シンフォニーホールや集客性の高い大規模商業施設の立地など工場跡地を中心として大規模な土地利用転換などが進み、本市の広域拠点である川崎駅周辺地区の新たな玄関口として、まちの様相が大きく変化してきています。
- また、幸区は従来製造業を中心に発展してきましたが、現在では情報サービス業などの従業者が多く、情報通信業に従事する従業者比率が7区の中で最も高くなっています。



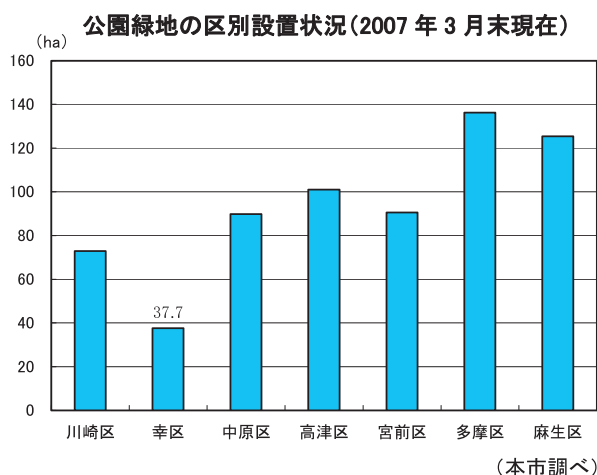
- 地域生活拠点としての新川崎駅周辺地区では、新川崎地区地区計画に基づき、民間活力などの導入による良好な市街地形成を誘導し、創造、活力、ゆとり、安心の融合した拠点の整備が進んでいます。
- さらに、隣接する鹿島田駅周辺地区についても民間活力を活かした再開発事業や基盤整備が進んでいます。
- こうした新しいまちづくりにあたっては、高齢者や障害のある人々も安全で快適に過ごすことができる環境が求められることから、安心して往来できるようなバリアフリー化などの整備を進める必要があります。
- 新川崎・創造のもり計画に基づき、慶応義塾大学の研究施設であるK² (ケイスクエア) タウンキャンパスや創業などを支援するかわさき新産業創造センター (KBIC) など、先端的・創造的な研究活動や産学官連携による研究開

発型企業の育成など新しい産業の創造に向けた取組が進められています。

- このような動きをとらえ、市内の企業・研究施設との連携や商業の活性化を図るとともに、周辺環境との調和のとれたまちづくりを進める必要があります。
- また、こうした研究活動などを次代を担う子どもたちに伝え、科学・技術・産業に対する関心を高めていくことが求められています。
- 比較的平坦地が多い幸区では、通勤、通学や買物の際の交通手段として自転車が多く利用されており、自転車利用者や歩行者の交通安全確保のための取組を進めています。また、駅周辺の自転車の放置は、歩行者の通行の妨げになるだけでなく、防災やまちの美観の点からも大きな問題となっていることから、駐輪場の整備や放置自転車等防止対策の取組を進める必要があります。
- 幸区は、65歳以上の老年人口比率が川崎区について2番目に高く、2002年には約16.4%であった比率が、2007年には約18.4%に達しています。
- また、高齢者のひとり暮らしの割合も川崎区に次いで2番目に高く、介護サービスの充実や、高齢者の健康づくり、介護予防のしくみづくりが求められています。また、高齢者をはじめとするすべての市民が、地域でいつまでも自立した生活ができるように地域での支え合いを促進する必要があります。



- 幸区は、多摩川、鶴見川及び矢上川の三本の川に囲まれ、さらには里山の環境が残る夢見ヶ崎動物公園（加瀬山）など豊かな緑や水辺空間がある一方で、公園の数や面積は、7区の中で最も少なくなっています。
- このため、既存の公園の再整備や多摩川などの水辺空間を活かすなど、緑を基本としたまちづくりを進め、地域の魅力づくりに努めていくことが大切です。



- 核家族化の進行や生活様式の変化、区内における大規模な集合住宅の建設による新たな住民の増加などにより、地域における区民のつながりにも変化が見られます。特に、町内会・自治会への加入率低下や近隣関係の希薄化などの影響による地域の防犯・防災力の低下のおそれ、子育てに悩む若い世代の不安などへの対応が求められています。
- このようなことを踏まえ、地域のコミュニティについては、支え合いにより、安心・安全で誰もが住みやすい地域づくりに向けた取組を進める必要があります。
- 2006年度から実施した幸区区民会議をはじめ、地域の課題解決のために、さまざまな形で区民と行政の協働の取組が進められています。
- 今後とも区民との協働の拡大が見込まれることから、地域コミュニティ活動やボランティア活動などへの支援や団体相互のネットワーク構築のためのコーディネート機能が行政に求められています。

■区民会議の審議状況

幸区区民会議は、2006年7月に第1回会議をスタートさせ、2006年度～2007年度の2年間に7回開催しました。地域生活に密着した課題の解決に向けて、専門部会を設置し、延べ27回の検討を重ねました。2006年度は、「地域防災活動の推進」、「魅力づくりと市民活動の推進」について、2007年度は、「地域での高齢者の健康づくり」、「安心して子育てできる環境づくり」、「自転車に係わる交通安全」、「地域のごみ減量・リサイクル」について審議を行い、それぞれの課題解決に向けた提言を行いました。

●区民会議の審議を踏まえた主な取組

<地域防災活動の推進>

避難所運営会議が日頃から自主的に運営訓練を実施できるよう支援を行い、2007年には西御幸小学校など7つの避難所で避難所運営会議を開催しました。

<地域での高齢者の健康づくり>

高齢者が地域とのつながりを持ちながら、健康の維持増進を図る住民主体の健康づくり活動を支援する取組を進めています。

<安心して子育てできる環境づくり>

子どもたちが地域の中で健全に成長できるように、地域全体で子育てを支えていく取組を推進するため、区内保育所の園庭開放の時に、絵本の読み聞かせを2007年12月から実施するなど、地域子育て支援の充実を図りました。

<魅力づくりと市民活動の推進>

音楽や地域の自然環境などに親しむための活動や、地域の団体のつながりをつくる取組として、加瀬山で「夢こんさあと」を実施しました。また、市民活動や地域活動の支援を図るため、幸市民協働プラザやコミュニティサイトなどで交流を支援する場や情報の提供を行っています。



避難所運営会議（西御幸小学校）

幸 区

■幸区役所における主な取組 計画期間（2008～2010年度）の事業目標

事業名	現状	事業内容・目標			
		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度以降

基本政策Ⅰ 安全で快適に暮らすまちづくり

●地域で犯罪や交通事故の防止に取り組むとともに、地域の特性を踏まえた災害に備える取組を進めます。

Ⅰ-1 暮らしの安全を守る

安全・安心まちづくり推進事業 【区民会議課題】 地域で発生する犯罪や交通事故を防止するため、市民や地域団体、警察等との連携による取組を推進します。	●幸区こどもの安全の日を制定 ●交通安全の啓発	●パトロールなど防犯対策の推進 ●地域での見守りによる子どもの安全の推進	●地域での見守りによる子どもの安全の推進 ●交通安全の啓発	→	事業推進
				→	

Ⅰ-2 災害や危機に備える

地域防災活動の推進事業 【区民会議課題】 避難所運営会議や防災ネットワーク連絡会議の活動などへの支援を進め、地域の防災力を高めまします。	●運営モデル避難所の運営訓練の支援 ●要援護者の安否・確認避難誘導訓練の支援	●避難所運営訓練等の支援 ●要援護者の避難誘導訓練の支援	→	事業推進
			→	

基本政策Ⅱ 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

●地域での助け合いを促進し、健康で生きがいのもてる地域づくりを進めます。

Ⅱ-1 超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

健康長寿推進モデル事業 【区民会議課題】 地域とのつながりを持ちながら、高齢者がいきいきとした生活を送ることができる地域主体の健康づくり活動を推進します。	●高齢者の健康づくり活動の育成・支援	●高齢化が進む地区の選定・重点実施 ●地域との協働による健康づくり活動の推進	●高齢化が進む地区で重点実施	→	事業推進
				→	

基本政策Ⅲ 人を育て心を育むまちづくり

●地域の中で子ども達がすこやかに育つことができるよう、地域で子育てを支えていく取組を進めます。

Ⅲ-1 子育てを地域社会全体で支える

総合的な子ども支援機能の整備 【区民会議課題】 子育ての窓口相談、情報提供、交流の場などの拡充を図るとともに父親の育児参加を支援します。	●こども相談窓口の設置と検証 ●情報紙の発行 ●子育て支援講座の開催 ●父親の育児参加促進事業の実施	●こども相談窓口の拡充 ●ホームページ開設など情報発信の拡充 ●子育て支援講座の充実 ●父親の育児参加促進事業の実施	●窓口相談の実施 ●情報発信の推進 ●子育て支援講座の推進	→	事業推進
				→	
				→	
				→	

事業名	現状	事業内容・目標			
		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度以降

基本政策Ⅳ 環境を守り自然と調和したまちづくり

●地域の街なみと調和した、花と緑のうるおいのあるまちづくりを進めます。

Ⅳ-3 緑豊かな環境をつくりだす

地域の街なみ・緑化推進事業(区課題) 身近な地域での緑化推進、周辺の景観・緑化に配慮した公共空間の整備を行います。	●地域の緑化活動への支援 ●花のまちづくり講座の開催 ●公共空間の緑化推進	●地域の緑化活動への支援 ●花のまちづくり講座の開催・検証 ●南河原架道橋周辺の景観整備	●検証に基づく事業実施 ●公共空間の緑化推進		事業推進
--	---	--	---------------------------	--	------

基本政策Ⅴ 活力にあふれ躍動するまちづくり

●地域に集積するものづくり関連施設や科学技術関係機関と連携したまちづくりを進めます。

Ⅴ-2 新たな産業をつくり育てる

さいわいものづくり体験事業 ものづくり関連施設や科学技術関係機関と連携して、ものづくりや科学技術を体験的に学べる場を提供します。	●青少年向け公開講座、科学技術体験講座の実施	●子どもを対象とした科学技術体験講座の開催 ●親子で参加する体験講座の開催			事業推進
---	------------------------	--	--	--	------

基本政策Ⅵ 個性と魅力が輝くまちづくり

●地域資源を活かしてまちの魅力を育て発信することにより、愛着と誇りを育むまちづくりを進めます。

Ⅵ-1 川崎の魅力を育て発信する

音楽のまち推進事業 身近な場所でより多くの人に音楽に親しんでもらう機会を設けて、音楽のまちづくりを推進します。	●身近な場所で音楽に親しめる環境づくりの推進 (夢こんさあとほか)	●身近な場所で音楽に親しめる環境づくりの推進 (夢こんさあとほか)	●検証に基づく事業実施		事業推進
--	--------------------------------------	--------------------------------------	-------------	--	------

Ⅵ-3 多摩川などの水辺空間を活かす

町田掘整備事業(区課題) 空堀状態でごみの不法投棄等が行われていた水路について、緑を活かした整備を行います。	●整備推進	●整備完了	●地域主体の維持管理の推進		事業推進
---	-------	-------	---------------	--	------

基本政策Ⅶ 参加と協働による市民自治のまちづくり

●地域コミュニティ活動の活性化を推進するとともに、地域の課題を参加と協働により解決する取組を進めます。

Ⅶ-1 自治と協働のしくみをつくる

地域コミュニティ活動の推進事業 地域コミュニティ活動の活性化によりだれもが住みやすい地域づくりを推進します。	●交流の場づくりの支援 ●地域コミュニティ活動への参加促進の検討	●交流の場づくりの支援 ●地域コミュニティ活動への参加促進			事業推進
幸区提案型協働推進事業 地域の課題解決に向け、区内の活動団体などから事業計画を募集し、参加と協働によるまちづくりを推進します。	●提案型協働推進事業の実施検討	●提案型協働推進事業のモデル実施	●提案型協働推進事業の検証と実施	●提案型協働推進事業の検証と拡充	事業推進

幸 区

事業名	現状	事業内容・目標			
		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度以降

Ⅶ-2 市民と協働して地域課題を解決する

市民活動等支援事業 【区民会議課題】 地域資源や音楽イベントなどを活用して地域の活動団体が横につながり、交流と連携を図る取組や情報提供の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の活動団体が相互に交流・連携する取組の支援 ●幸市民協働プラザ等を活用した支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の活動団体が相互に交流・連携する取組の支援 ●幸市民協働プラザ等を活用した支援 			事業推進 → →
区民に身近な区役所づくり推進事業 窓口サービスの継続的な向上を図り、市民の視点に立った便利で快適な窓口サービスの提供を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●窓口サービス検討会議などによる窓口サービス向上の取組 ●窓口環境の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンケートの活用等による窓口サービスの向上 ●窓口環境の改善 ●案内業務の充実 			事業推進 → → →
幸区区民会議運営事業 地域の課題を地域で解決するための調査審議を行う区民会議の運営を行い、区民の参加と協働の取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●第1期区民会議の運営 ●区民会議だより等による情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●第2期区民会議の運営 ●委員の改選 ●フォーラムの開催 	→	<ul style="list-style-type: none"> ●第3期区民会議の運営 ●委員の改選 	事業推進 →

幸区

